

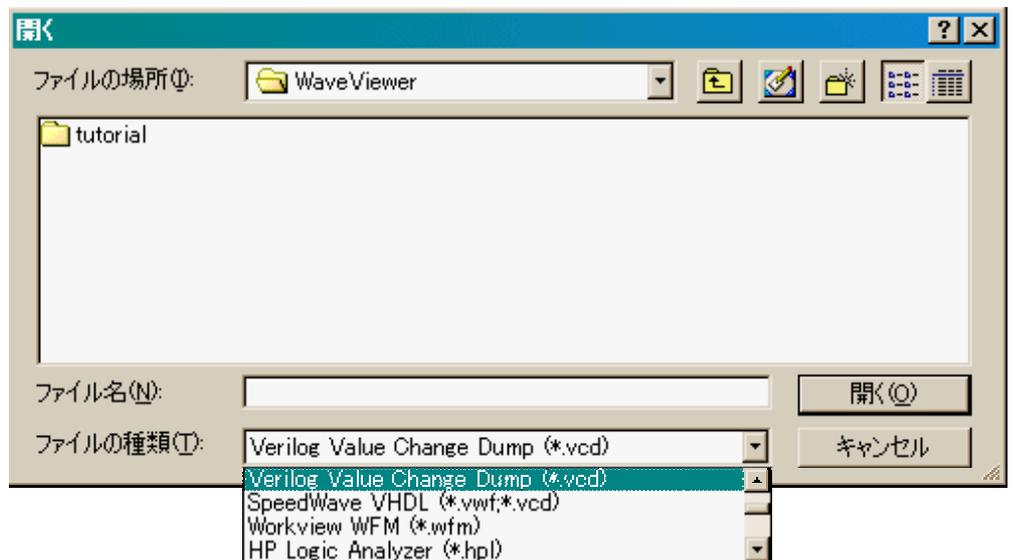
WaveViewer

TDMLやVCDファイルが処理できる無償の波形ビューワ ドキュメント作成や波形の確認に便利なツール

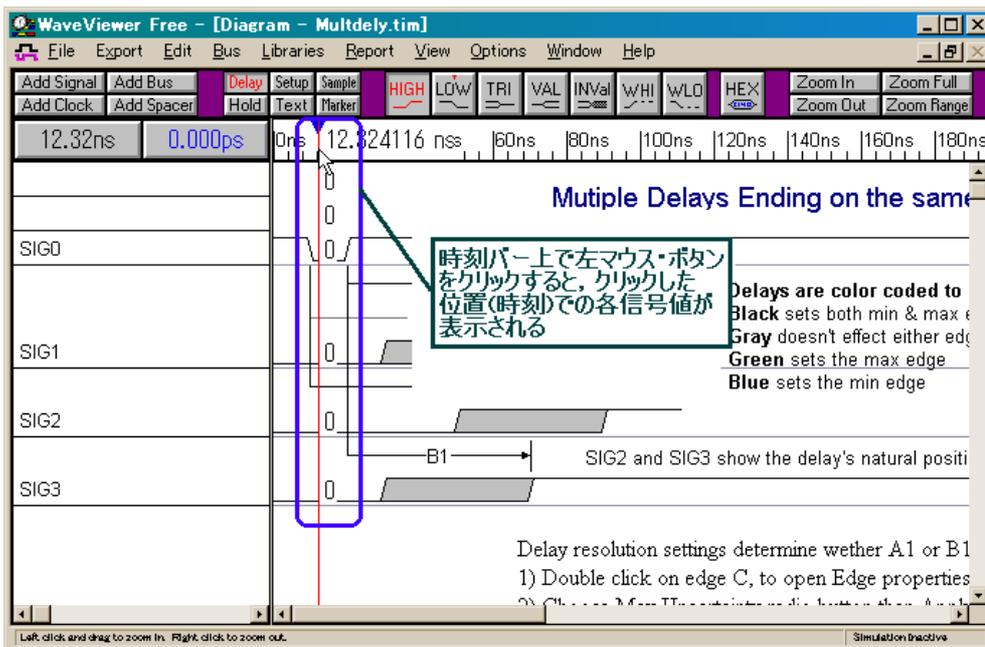
WaveViewerはSynaptiCADが開発した無償の波形ビューワです。WaveFormer Proで取り扱える波形フォーマットが処理できます。特に、VCDファイルが処理できるので、Verilog-HDLを使って開発を行う場合には強力なツールです。また、波形画面のコピー機能を装備しているため、ドキュメント作成にも使えます。

WaveViewerの使い方

波形ファイルを読み込んで表示するには、[File]-[Open Timing Diagram...]メニューを起動します。なお、見たいファイル・タイプは、右図に示すように[ファイルの種類]から選択できます。



WaveViewerの操作



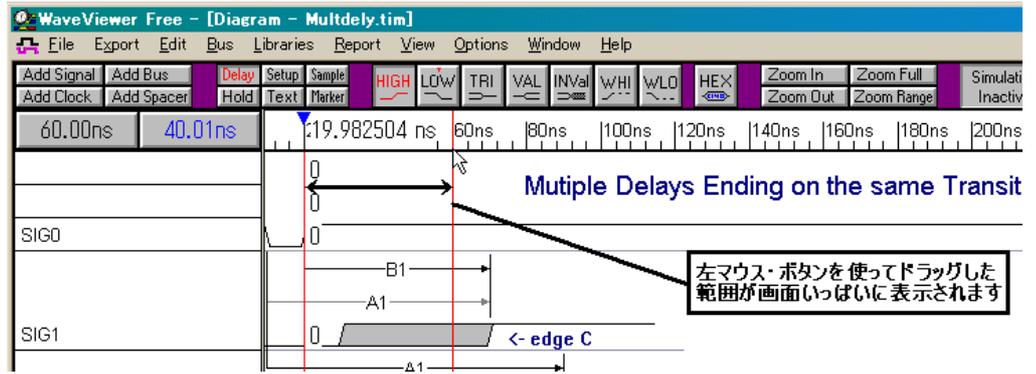
ある時刻での信号値の表示

時刻を表示している領域(時刻バー)内の任意の位置で左マウス・ボタンをクリックすると、その時刻での各信号値が表示されます。

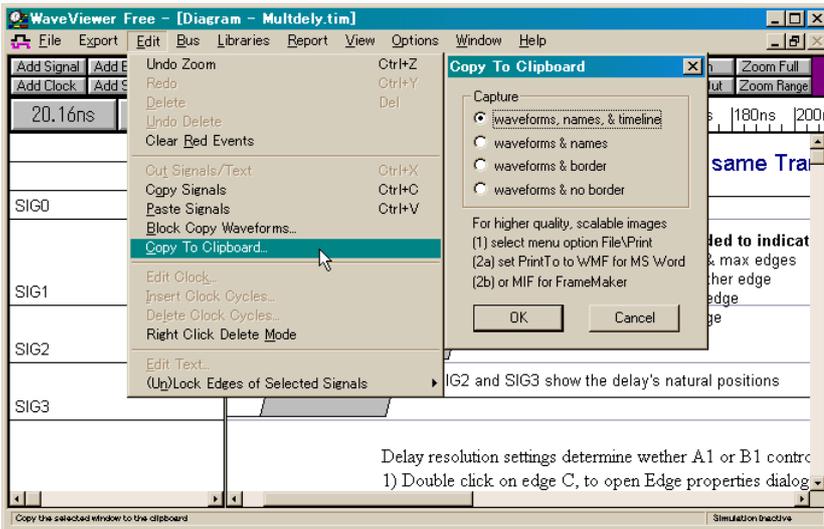
拡大と縮小

左マウス・ボタンを使って、時刻を表示している領域内(時刻バー)の任意の範囲をドラッグすると、その範囲の波形が画面いっぱいに表示されます。

また、右マウス・ボタンをクリックすれば、縮小表示ができます。



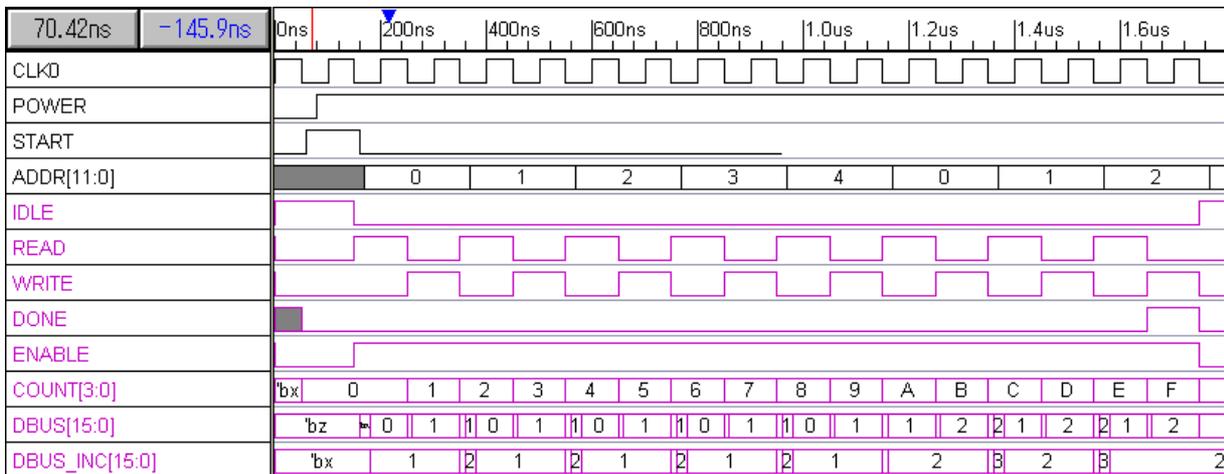
波形画面の取り込み



[Edit]-[Copy To Clipboard...]メニューを起動すると左図に示すCopy To Clipboardウィンドウが開きます。

ここで、Windowsのクリップ・ボードにコピーするオブジェクトの種類をラジオ・ボタンをクリックして選択します。デフォルトでは、波形、信号名、時刻バーの組み合わせでコピーされます。

OKボタンをクリックすればコピーできるので、ワープロ・ソフト上などに波形画面の貼り付けができます。なお、下図はWaveViewerの波形画面の取り込み機能を使ってMicrosoft Wordに貼り付けた実例です。



開発元 SynaptiCAD, Inc.

最新情報はCQ出版社のホームページをご覧ください。
規模限定プログラムやチュートリアルを入手できます。

<http://www.cqpub.co.jp/eda/edamenu.htm>